

Independent

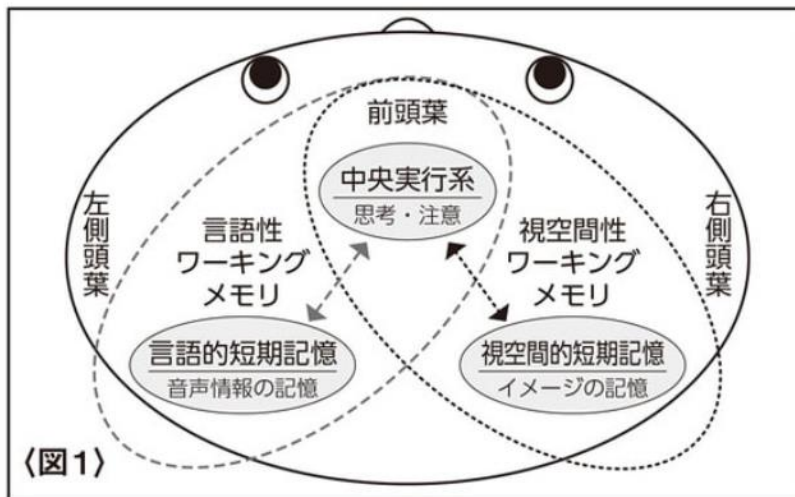
令和4年5月20日 発行

No.3

美瑛町すだちの教室通信



ワーキングメモリとは？

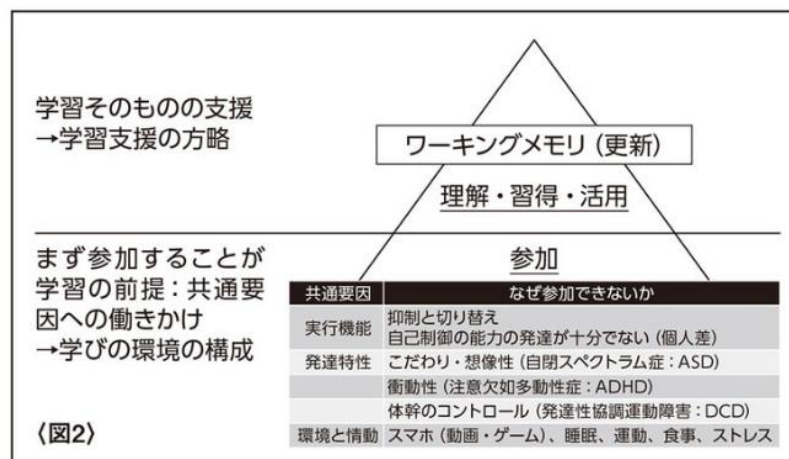


ワーキングメモリとは、情報を一時的に覚えておきながら、目的に応じて取り出す、考える働きです。

主に、言葉や数などの音声情報と位置や形などの視空間情報があります。ワーキングメモリで覚えている物事を保持しながら前頭前野で情報を処理します。

脳の中央実行系は実行機能とも呼ばれ、①切り替え「これから授業だ」②抑制「授業なので頑張って話を聞く」③更新「授業の流れに沿って常に情報を更新する」の3つの要素があります。

すだちの教室では、これらの要素のどこで困っているのかを見取り、生徒と一緒に作戦を考えていきます。また、その子の長所である、聴覚優位や視覚優位などを生かして学び方をサポートしています。



参考文献 月刊「実践みんなの特別支援教育」4月号より



〈6月の予定〉